

調布市景観アドバイザーからの講評

話し合った内容を発表してもらい、景観アドバイザーの石川先生から講評をいただきました。



石川 初 先生
(慶應義塾大学大学院 教授)

- 新たに生み出されているものではなく、すでにあるものの可能性を引き出しているようなものに、良いと感じるものが多い印象を受けました。
- 普段、当たり前が存在しているものに、それぞれの当事者（住民や関係者等）がひと手間かけているものが多く選出されていました。
- 撮影された写真の多くは、ちょっとした再発見や少しの努力や頑張りというテーマが見え隠れするものが多いような印象を受けました。

今回は、市民委員のみなさんが撮影した写真を題材に話し合いました。
今後は、撮影した写真などをもとに、実際に実践できる身近な景観づくりのアイデアを考えていきたいと思います！



季節感あふれる住宅周り



目隠しされた室外機



夜を彩るイルミネーション



あなたのまちの
「身近な景観づくり」を
発見してみよう！

普段、歩いている場所でも、ふと足を止めてみると、ちょっとした工夫がされた「身近な景観づくり」を発見できます。みなさんも、お気に入りの身近な景観を見つけてみてはいかがでしょうか。



季節を感じるイベント風景



店先のオシャレな設え



和風テイストの自動販売機



調布市では、景観まちづくりの取組について、「ちょうふ景観だより」でお知らせしています。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel：042-481-7746 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景観 だより



第5回調布市景観まちづくり市民検討会を開催しました！

調布市では、「調布市景観まちづくり市民検討会」を設置し、市民委員による地域特性を活かした魅力的な景観まちづくりについて意見交換しています。

本号では、平成28年8月24日(水)に開催した「第5回調布市景観まちづくり市民検討会」についてご紹介します。



第5回調布市景観まちづくり市民検討会を開催しました

第5回開催テーマ 『身近でステキな景観を発見しよう!』

平成28年8月24日(水)に開催した第5回市民検討会についてご紹介します。今回は、市民委員のみなさんに事前に撮影いただいた身近な景観の写真をもとに、良いと思った点について意見交換してもらいました。

撮影した「身近でステキな景観」の場所を地図に示そう!

市民委員の皆さんが撮影した写真について、撮影場所を市内の地図にプロットしてもらいました。



撮影場所
Aグループ
Bグループ
Cグループ



最も良いと思った写真を選ぼう!

市民委員に各自撮影した写真の中で、最もステキな景観の写真を選んでもらい、「タイトル」、「撮影場所」、「撮影理由」などをワークシートにまとめてもらいました。



良いと思った写真
写真のタイトル
撮影場所や撮影状況
撮影理由

みんなが選んだ「身近でステキな景観」を紹介しよう!

で作成したワークシートをもとに、グループ内で発表してもらいました。(一部抜粋)



シンボルの木
緑ヶ丘2丁目の分譲住宅地
元々は、写真のような木など多くあったが、開発に伴い自然がなくなってしまうと思ったが、自然もありつつ適度な空間も確保されて、良いと感じました。



歩く人や街に、優しさを伝える工事中フェンス
調布駅線路跡の工事現場(市役所通り角)
工事中の固いガードは、気持ちも固くなります。「短期間でも人の気持ちにうおいを!」という感じで、景観は人のちょっとした工夫で良くなります。



川と道
野川沿いのサイクリングロードでの子どもたちの通学の風景
ゆったりとした感じ、景観にマッチした住宅があり子どもたちの通学路としても利用されています。



甲州街道といえば
国領町1丁目付近の甲州街道沿い
車の往来の激しさに負けず大きな木が並木をつくり続けているところが良く、木陰は日光をほどよく遮り、みどりは目に優しい。